

進学2年コース		入学時レベルA2 → 卒業時レベルC1		1単位時間＝45分		20単位時間×76週＝1520単位時間		主な教材 みんなの日本語初級・ピアで学ぶ日本語会話活動260・上級への扉・漢字マスター	
授業科目名	総合	漢字	聴解	読解	作文／小論文	口頭表現（上級）	語彙・文法（上級）		
言語活動	「聞く」、「読む」、「話す（やり取り）」、「話す（発表）」、「書く（発表）」、「書く（やり取り）」	「読む」、「書く」	「聞く」、「話す（やり取り）」、「話す（発表）」	「読む」、「話す（やり取り）」	「話す（やり取り）」、「書く（発表）」、「書く（やり取り）」、「聞く」、「読む」	「話す（発表）」、「聞く」、「読む」	「聞く」、「読む」、「書く」		
到達目標 Can do	様々な分野のアカデミックな内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。言葉に詰まることなく流暢に、自然に自己表現ができる。社会や高等教育機関で目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテキストを作ることができる。その際テキストを構成する字句や接続表現、結束表現の用法を使いこなせていることがうかがえる。	漢字（2000字程度）の意味・読み・書きを習得し、それらを含む文章を読んで理解したり、文章を書いたりすることができる。未習の熟語でも漢字から読みや意味をある程度推測することができる。JLPT N1試験や日本留学試験（日本語）において、一定の成績を修める程度の漢字知識を持つ。	話し手の長い主張や講義を理解できる。ニュース動画や時事問題の放送内容が、大抵は理解できる。共通語のドラマや映画の大まかな筋がわかる。	必要な情報を見つけるために長いテキストにざっと目を通し、テキストのさまざまな部分や別のテキストから、特定の課題遂行のための情報を収集できる。抽象的で構造的に複雑な文章や、文学作品を含めて、実質的に理解して批判的に解釈できる。	複雑な話題について、明瞭な構造で、きちんと記述し、重要な関連事項を強調しながら、書くことができる。専門的でアカデミックなテーマで見解が異なる相手の主張を分析し、関係性を保ちながら反論することができる。知人関係でなくても冗談を理解し、ユーモアで返すこともできる。	感情表現、間接的な示唆、冗談などを交えて、社交上の目的に沿って、柔軟に、効果的に言葉を使うことができる。	高度な文法をマスターし、社会生活上必要な語彙（10000語程度）、高等教育機関で受講するのに必要な専門用語を含む資料に慣れる訓練を積む。		
総学習時間	756	218	158	158	152	26	52		

進学1.5年コース		入学時レベルA1 → 卒業時レベルC1		1単位時間＝45分		20単位時間×57週＝1140単位時間		主な教材 日本語総まとめ・ピアで学ぶ日本語会話活動260・上級への扉・漢字マスター	
授業科目名	総合	漢字	聴解	読解	作文／小論文	口頭表現（上級）	語彙・文法（上級）		
言語活動	「聞く」、「読む」、「話す（やり取り）」、「話す（発表）」、「書く（発表）」、「書く（やり取り）」	「読む」、「書く」	「聞く」、「話す（やり取り）」、「話す（発表）」	「読む」、「話す（やり取り）」	「話す（やり取り）」、「書く（発表）」、「書く（やり取り）」、「聞く」、「読む」	「話す（発表）」、「聞く」、「読む」	「聞く」、「読む」、「書く」		
到達目標 Can do	様々な分野のアカデミックな内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。言葉に詰まることなく流暢に、自然に自己表現ができる。社会や高等教育機関で目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテキストを作ることができる。その際テキストを構成する字句や接続表現、結束表現の用法を使いこなせていることがうかがえる。	漢字（2000字程度）の意味・読み・書きを習得し、それらを含む文章を読んで理解したり、文章を書いたりすることができる。未習の熟語でも漢字から読みや意味をある程度推測することができる。JLPT N1試験や日本留学試験（日本語）において、一定の成績を修める程度の漢字知識を持つ。	話し手の長い主張や講義を理解できる。ニュース動画や時事問題の放送内容が、大抵は理解できる。共通語のドラマや映画の大まかな筋がわかる。	必要な情報を見つけるために長いテキストにざっと目を通し、テキストのさまざまな部分や別のテキストから、特定の課題遂行のための情報を収集できる。抽象的で構造的に複雑な文章や、文学作品を含めて、実質的に理解して批判的に解釈できる。	複雑な話題について、明瞭な構造で、きちんと記述し、重要な関連事項を強調しながら、書くことができる。専門的でアカデミックなテーマで見解が異なる相手の主張を分析し、関係性を保ちながら反論することができる。知人関係でなくても冗談を理解し、ユーモアで返すこともできる。	感情表現、間接的な示唆、冗談などを交えて、社交上の目的に沿って、柔軟に、効果的に言葉を使うことができる。	高度な文法をマスターし、社会生活上必要な語彙（10000語程度）、高等教育機関で受講するのに必要な専門用語を含む資料に慣れる訓練を積む。		
総学習時間	528	142	139	114	114	26	52		